

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆

佐藤正己県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

3期連続当選、市民の支持に感謝し活動



6月県議会一般質問に登壇した佐藤正己県議会議員

■習志野市特集■

6月県議会一般質問

「生活文化都市・習志野市の未来を市民とともに築く」をモットーに県議活動、習志野市選挙区で3期目の当選を果たした佐藤正己(さとう・まさみ)県議は、「当選は市民有権者のご支援のたまもの。市民の期待に応えて要望や声を県政に生かしたい」と市民の支持に感謝し、おごることなく誠実・着実な県政活動を続けています。

6月県議会では一般質問に登壇。「道路問題」「中小企業の育成」「住宅用火災報知器普及」など身近な施策の提言・要望をしたほか、「中高一貫教育」「スポーツ振興」などについて県側の姿勢を質しました。

習志野の未来のため県議会で提案

中小企業の支援・育成を訴え

課長会議での普及③県産業振興センター機関紙「企業情報」やネットワークの活用④県民だより5月号特集、新聞や情報誌への掲載⑤県ホームページやITネット

さらに勉強会や会合に県から出向き、現場での意見交換を通じて施策の質の向上に努めたい。

リーダー養成と活性化策

佐藤 中小企業元気戦略の事業などで元気な商店街づくりを目指したい。

佐藤 中大型店と地域商業の共生があるが、県はどの程度介入できるのか。

佐藤 民間と民間の関係に行政が割って入って調整するのは難しい。

佐藤 県は「地域貢献ガイドライン」を策定、共生して行くために、地域住民や大型店関係者と十分協議しています。

シャッター通り解消、住みよい街づくりへ県施策の効果期待

中小企業育成について的一般質問にあたり佐藤県議は「住みよい街づくりに商店街の活性化は欠かせないもの。大型店の進出は生活の利便性向上、雇用の拡大などに寄与する一方、地域のコミュニティが損なわれる一面もある。

商店街がシャッター通りになつたのでは、地域が崩壊の危機に向かう。

ちば中小企業元気戦略が効果を上げることは商店街の活性化にとどまらず、住みよい街づくりに繋がる。

目に見える形で実効をあげてほしい」との申し入れを県当局に行いました。

佐藤 ちば中小企業元気戦略及び同事業計画書を中小企業に対してどのようにアピールしていくのか。元気戦略をより多くの方々に知つてもらいたい事業を有効に活用してもらうことが重要です。そこで①商工会や商工會議所を通じた周知②市町村の商工担当部

佐藤 いまだに元気のない商店街をどう元氣づけるのか。

佐藤 今まで元気のない商店街を中心となつてまとめ、引っ張っていくリーダーの存在と、商店街の置かれた環境に合った活性化策を地域ぐるみで実施していくことが不可欠です。県は①若手リーダーを育成する「ふさの国商い未来塾」の開催②専門化のアドバイスを受けた「元気商店街創出事業③商店街とNPO、大学が連携・協働する「み

県政や習志野市のご相談ご意見を聞かせてください
佐藤まさみ 県議事務所 TEL.047-475-2001

